

## 人間情報学部が参加したグループが 学生向け起業家育成プログラムで最優秀賞を受賞

人間情報学部人間情報学科データサイエンス専攻1年の山口煌司さんが高校生と他大学の学生と協働し、米えある賞に輝きました。

山口さんがグループで参加したのは、愛知県主導の学生企業家育成プログラム「STAPS」です。2025年9月21日の最終ピッチ大会にて「二重の魅力に焦点を



## 親子食育教室

食健康科学部健康栄養学科と愛知淑徳大学クリニック健康相談室が12月13日に「親子食育教室」を共催しました。子ども向け調理実習、保護者向け講演会、親子揃っての試食会を行い、地域の小学3・4年生と保護者の方々15組30人が参加くださいました。

企画・運営の主体は、健康栄養学科の学生たち。カル

シウム豊富なクリスマスメニューを考案し、当日は調理実習の講師やサポートなどを務め、食への興味を広げるクイズも実施しました。管理栄養士をめざす学生たちにとって、献立作成や栄養教育などについて実践的に学ぶと共に、子どもたちとの交流を楽しみながら地域貢献に励む、貴重な機会になりました。



## 愛知淑徳大学クリニック 健康相談室 医療講演会 「糖尿病とともに健康長寿」

12月20日、長久手キャンパスにて愛知淑徳大学クリニック健康相談室医療講演会「糖尿病とともに健康長寿」を開催し、地域の方々に大勢ご参加いただきました。

登壇したのは、愛知淑徳大学クリニック内科・糖尿病内科・消化器内科の医師や管理栄養士の先生4人。高齢者の糖尿病の特徴から、

糖尿病の合併症の予防、糖尿病と上手に付き合うための食生活、健康長寿につながる運動習慣まで、各専門分野に関するお話をさせていただきました。質疑応答の時間には、糖尿病における食事や運動、血糖値管理などに関する多くの質問に先生方が丁寧に回答。毎日の健康づくりに役立つ知識・情報をお伝えしました。



## 建築・インテリアデザイン専攻の諸江ゼミ生が AICHI WOODY AWARD 2025 優秀賞を受賞

学生を対象とした愛知県主催の木造建築設計コンペティション「AICHI WOODY AWARD 2025」に、創造

表現学部創造表現学科建築・インテリアデザイン専攻の諸江ゼミに所属する3年生・梅村慎吾さん、渡邉悠生さん、山田陽人さんが挑戦しました。一次審査を通過し、12月21日の最終審査会でプレゼンテーションを

行った結果、優秀賞に輝きました。

3人は、再整備が進む久屋大通公園南エリアに着目し、誰もが自由に集い過ごせる「Under One Roof」を提案。重ね梁構法による木造の大屋根を栄の駅前広場に計画し、日本建築の構造と空間のあり方を、現在の公共空間のあり方として捉え直しました。



### 第3回オーブンキャンパスに 2415人が来場

※保護者・付添者を除く

9月7日、「第3回オーブンキャンパス」が、長久手・星が丘の両キャンパスで開催されました。

6、7月に続く開催となり、学内の雰囲気や施設、学びを体感できる機会とあつて、多くの方にご来場いただきました。学科（専攻）相談や入試相談、キャンパスツアー、模擬授業、学生によるトークライブ

などに参加した皆さんは、大学の雰囲気により身近に感じながら、自身の大学生活を思い描いている様子でした。また、入試対策講座（学科・専攻適性、公募制推薦）も実施され、前回参加できなかった受験生を中心に多くの方が来場し、入試の傾向や対策に真剣に耳を傾けていました。

### 健康栄養学科「給食経営管理実習」 学生によるランチ提供

食健康科学部健康栄養学科2年次の「給食経営管理実習」では、給食施設における管理栄養士の役割を理解し、献立作成、食材の発注・検収、調理・供食、帳票記入・管理などを実践して学びます。11月・12月には、給食経営管理実習室食堂にて学生たちが実際にランチを提供。6回にわたって行われ、各回とも100食

がすぐに完売となり、訪れた学生・教職員から好評を得ていました。

仲間と互いに協力し、和洋中の多彩なランチをつくり上げた学生たち。管理栄養士に求められる栄養面、安全・衛生面、経済面での総合的なマネジメントを学びました。この経験を臨地実習などにつなげて、専門性をより深めていきます。

がすぐに完売となり、訪れた学生・教職員から好評を得ていました。



## 中学校・高等学校

### 高校 秋の文化祭

11月13日に日本特殊陶業市民会館で開催され、例年より出演クラブが増え、各々の発表時間も拡充され、日頃の練習の成果がより充実した形で披露されました。コロナ禍が明け、久しぶりの1日開催となった会場には活気があふれ、多彩なステージに温かな拍手が送られました。演奏や演技の一つひとつには、仲間

との絆や努力の軌跡が感じられ、舞台上に立つ緊張や達成感、そして仲間と作り上げる喜びは、教室では得られない貴重な学びとなりました。クラブ活動は、自分の可能性を広げ、他者を理解し、支え合う力を育てます。今後も一人ひとりの挑戦が励まされ、全員が輝ける舞台となることを願っています。



### 図書講演会

11月17日、記念講堂にて、韓国文学翻訳家の斎藤真理子さんをお迎えして図書講演会を開催しました。題して「隣の国の人々と出会うー韓国文学の面白さ」。

文学は生命力にあふれ、主人公が考え抜き、個人と社会の関係が生きて描かれる面白さがあることでした。考古学を志して大学に入

11月17日、記念講堂にて、韓国文学翻訳家の斎藤真理子さんをお迎えして図書講演会を開催しました。題して「隣の国の人々と出会うー韓国文学の面白さ」。

学したのに韓国・朝鮮語と出会い、編集者等を経て文芸翻訳をするようになったという斎藤さん。生徒からの質問にも一つひとつ丁寧に答えられ、その柔らかく温かいお人柄も魅力的でした。



### 中学秋の文化クラブ発表会

11月21日、大アリーナで秋の文化クラブ発表会が開催されました。受付には華道同好会の生け花、入口には美術・書道・自然科学・イラスト各クラブの作品が並び、舞台では演劇クラブの「広くてすてきな宇宙じゃないか」をはじめ多彩な発表が行われました。今年度は創立120周年記念祝典の影響で春の発表会が小規模となった分、各クラブの意気込みが一層強く、芸術の秋にふさわしい充実した内容となりました。



### 中学校入試説明会・学校説明会

10月25日、午前に学校説明会・午後に入試説明会を開催しました。学校説明会は小学5年生以下を対象にしたミニオープンスクールのようなイベントで、ミニ体験授業・クラブ見学・淑徳生に聞いてみよう・教科展示など様々な企画を行いました。当日は、運動会を実施している小学校も多い中463人もの方々にご参加いただきました。親子ともに目を輝かせながら



### セントキャサリンス交換留学

12月16日から20日まで、姉妹校であるセントキャサリンス校より、教員3人・生徒12人が本校を訪れました。8月の豪州訪問に伴う交換留学であり、約4か月振り、感動の再会となりました。

姉妹校の生徒たちは、クラスでの朝礼・終礼、茶道・書道・お弁当作りなどの特別授業、部活動体験に参加しました。また、交流会では淑徳生と一緒にゲームを楽しむなど、多くの時間を共に過ごしました。

上手な日本語で会話する姿に、淑徳生も大いに刺激を受けていました。

両校の交流は30年以上にわたり続いています。一つひとつの滞在を大切に、心を込めて築き上げてきた互いの思いが、この長年の交流を支えてきました。今後もこの豊かな関係が続くよう、交流を大切にしていきたいと思っています。



歓迎会



お弁当作り



中学生との交流会



部活動体験



部活動体験

### PTA講演会

10月22日、センテナリーホールにてPTA講演会を開催しました。宝塚歌劇団男役・橘幸として活躍後、現在はプロメンタルコーチとしてご活動中の土田めいこ様を講師にお招きし、「がんばる娘を支えるお父さんお母さんへ」前向きな心を育てる家庭の習慣」をテーマにご講演いただきました。

土田様は思春期の子どもを持つ親の悩みに寄り添いながら、プレッシャーを感じたときの乗り換え方などを自身の経験を踏まえて分かりやすく解説。「人を変えるのではなく自分の在り方を変える」といったアドバイスの数々を届けてくださいました。



### ホームカミングデー

10月18日、第14回ホームカミングデーが開催されました。60歳の還暦を母校で祝うという趣旨で開かれてきました。しかし2020年から22年にかけて、コロナ禍で開催できなかったため、一昨年から今年までの3年間は、2学年ずつの開催で行われました。本年は、高校第35・36回卒業生です。当日は卒業生256人、縁のある先生方

14人の参加でした。全体会では本校センテナリーホールにて行われ、学園70周年記念映画の上映、懐かしい先生方のご挨拶、校歌の合唱、記念撮影の後、普段在校生が授業を行っている普通教室に分かれて、食事しながらの歓談となりました。準備を重ねられた同窓会役員と同窓生の方々に深く感謝し、この会が今後続くことを願っています。



### 淑美展

淑美展は中高の美術部、書道部、写真部の合同展覧会として毎年、名古屋市民ギャラリー矢田で開催しています。今年は11月25日から30日までの6日間、生徒がクラブ活動で制作した作品と芸術科の教員の作品、合わせて92点を展示しました。中高関係者、地域の小学生やご家族連れなどが訪れ、来場者数は2988人

を記録。感想記入用紙には「私も習字をならつていて、みなさんの字がきれいで、私もいつかみなさんみたいに書きたいと思いました」「それぞれに個性があり素晴らしい」などたくさんコメントが寄せられました。淑美展が愛知淑徳の芸術文化活動の一環として今後も発展していくことを願います。

